

那珂川町の外来生物調査と活用方法

水産科 2 年 高塚優二 松本温巳 丸井匡

1. 研究の動機

本校のある那珂川町において外来魚がどこまで生息域が広がっているのかを知り、帰化してしまった外来種が本来生息している在来種にどれほど影響があるのか。また、その外来魚の利用価値を発見できれば新たな資源としても利用できるのではないかと考えた。そして生息域を詳しく把握すればもっと釣りが楽しめると思った。

2. 研究の内容

- ・調査場所 那珂川町内の河川、農業用水路、ため池等
- ・調査方法 釣り、水面と潜水での目視、さで網でのガサガサ
- ・調査期間 平成 28 年 4 月～12 月

上記の内容で採集した外来生物の測定および胃内容物調査を行い、肉は調理方法開発に使用した。採集対象生物には特定外来生物のオオクチバス、ブルーギル等が含まれる。生きたままの移動は禁止されているため、採取した際は速やかに血抜きし氷漬けにし、運搬するということを守り研究を行った。



図 1 野池での釣り調査

3. 研究結果

今回、課題研究の授業内で採集できた外来生物はザリガニのみで、バス等の外来魚を採集することができなかったが、卒業生の方からコクチバス、オオクチバスを提供していただくことができ、測定と胃の内容物調査と調理方法開発を行うことができた。

(1) 外部測定および胃内容物調査

種類	採集場所	全長(mm)	魚体重(g)	内容物の種類
オオクチバス	小口ため池	145	125	不明
オオクチバス	小口ため池	300	403	ザリガニ
コクチバス	権津川合流	370	950	ヤゴ、魚卵
コクチバス	久那瀬	213	125	トンボの成虫
コクチバス	久那瀬	95	89	シマドジョウ
コクチバス	久那瀬	176	89	魚の稚魚
コクチバス	旧新那珂橋	276	276	カジカ
コクチバス	旧新那珂橋	443	1156	不明

表 1 外部測定と胃内容物

(2) 調理方法の開発



◎コクチバスの竜田揚げ

材料

- ・コクチバス半身
- ・しょうが
- ・ニンニク
- ・塩コショウ
- ・片栗粉



◎オオクチバスのフライ

材料

- ・オオクチバス半身
- ・塩コショウ
- ・卵
- ・片栗粉
- ・パン粉



◎コクチバスのムニエル

材料

- コクチバス半身
- ・塩コショウ
- ・小麦粉
- ・バター

4. まとめおよび今後の課題

今回行った調査では授業内で外来魚を採集することができなかった。今後は調査方法の再検討をする必要がある。また、那珂川町外来生物生息マップの制作が年度内に完成できなかったため、来年度は効率的に調査し、完成させたい。

胃の内容物調査は確認できた物がほぼ底生生物だった。サンプル数が少なかった事と時間的な要因もあるため断言はできないが、比較的動きの遅い生物を好んで捕食している可能性がある。

バスを使った料理は驚くほど美味だった。皮を剥ぐことで川魚特有の臭みは感じられなくなる。生息マップと併せて外来生物レシピ集の作成も検討し来年度の研究につなげたい。